

議題2:「令和3年版 戸田市の環境」について

No.	ページ	意見	回答
1	【概要版】 2	苗木の無料配布についての箇所、場所の提供団体がなかったのは残念である。 今年はずいぶん参加いただける団体(会社でも良いのか)があるといいと思った。 苗木の配布、マンションの団体にも聞いてみたらどうか、周知の工夫をした方が良いのではと思う。	とだグリーンウェイブでは、植樹する団体と、植樹する場所を提供する団体がありますが、実際は、自らが用意した場所で植樹する団体がほとんどです。 参加できる団体は、家族、友人同士のグループのほか、事業所、マンション管理組合なども含まれ、特段の制限はつけていません。 周知は広報戸田市のお知らせページに毎年掲載していますが、2022年2月号では半ページを使った記事(P.29)を掲載しました。
2	【概要版】 3 【全体版】 72	戸田市内の令和2年度の二酸化窒素(NO _x)の市内5測定値が環境基準を達成しているのは、2006年4月1日のディーゼル車排ガス規制により環境基準が達成したのではと思うのだが、いかがか。	御指摘のとおり、排ガス規制(新短期規制・新長期規制・ポスト新長期規制等)による効果は多大であると考えております。
3	【概要版】 3 【全体版】 73	光化学オキシダント(光化学スモッグ)の環境基準を達成していないことについて、埼玉県内でも環境基準を達成していないことであるが、戸田市内でも光化学スモッグ発令の防災放送が出されることがあるので対策を講じてほしい。 (5月から10月の気温25℃以上で風が4m/秒で発生しやすい。)	光化学スモッグ注意報の発令につきましては、前年よりも回数が少なくなっておりますが、環境基準を達成できていないため、埼玉県を中心に、他自治体と協力して大気汚染問題に取り組んでまいります。
4	【概要版】 4 【全体版】 90	河川の汚れについて、上戸田川浅間橋(BOD 7.1mg/L)(DO 5.2mg/L)とは、生活排水の流入であるので、生活排水の流入対策が必要である。市民の要望による。	上戸田川付近には、下水道未整備地区が多く存在します。そのため、生活排水は、建物ごとに設置している浄化槽を通し、道路側溝を通して川へ流入しています。管理不足の浄化槽を通った排水は、処理しきれないまま流れ、結果的に河川の汚れにつながってしまいます。浄化槽の管理は所有者の義務であるものの、適正管理ができていないものもあるため、各施設の管理者に対し、浄化槽を適正に管理してもらうよう、引き続き維持管理の啓発を実施してまいります。
5	【概要版】 7	1人1日当たりの家庭系ごみの減量に取り組んでいることが数値でも現れていて、このまま継続することが望ましい。	家庭ごみについて、今後も引き続き減量できるよう市民の皆様と取り組んでまいります。
6	4~15	資料 ー2はすでに刊行されたものなので、次年度以降に向けたコメントを記す。環境行政年表は、西暦を併記してほしい、国際的事項も含まれているし、元号も昭和・平成・令和と変わったので、対応が分かりづらい。	令和4年版で対応いたします。
7	14	戸田市環境基本計画2021につなげる意味で、平成27年(2015年)9月に「国連で『持続可能な開発のための2030アジェンダ』が採択」を追加してはどうか。	御意見を踏まえ、追記対応いたします。
8	16	戸田市の「環境未来都市」構想について、ここだけ言及されているが非常に楽しみである。	「環境未来都市」構想は、世界的に進む都市化を見据え、環境や高齢化対応などの課題に対応しつつ、持続可能な経済社会システムを持った都市・地域づくりを目指す、国が推進する取組で、SDGsの理念と軸を一にするものです。 「戸田市環境基本計画2021」では、基本目標等とSDGsの関連性を明記しました。環境施策を推進することで、SDGsの達成に繋がるよう取り組んでまいります。
9	19~	2050年カーボンニュートラル宣言を受けて、今後は「脱炭素」ではなく「脱炭素」がキーワードになるかと思う。	国が温室効果ガス排出量の46%削減を示したこともあり、取組を一層加速していく必要があります。その中で、御指摘いただきましたとおり、「脱炭素」は重要なキーワードであり、戸田市環境基本計画2021でも重点プロジェクトの一つに位置づけています。
10	22	4.目標値 No.5 保存樹林について ・保存樹林の維持は難しい状況なのか。 ・3カ所の具体的な場所はどこか、減った1カ所(約800㎡相当)はどこか。	保存樹林の動向は、平成24年に1カ所800㎡(新曽)が解除、平成27年に1カ所612㎡(笹目)が解除、平成27年に1カ所557㎡(中町)が指定されました。現在、中町と美女木の計2カ所にあります。
11	22	No.7 保存生垣延長について ・計算方法はどのような方法なのか。 ・3軒協定締結個数が増加したことが要因か。 ・生垣等設置補助制度利用数は増えていない。 (資料 ー2より、平成28年度をピークにその後は件数が少ない、令和2年度では0件であった。)	保存生垣の延長は、現地で実測した延長の合計です。生け垣等設置補助制度は、新規に生垣を設置する場合に補助金を支給する制度です。市内の家屋の多くが小規模な住宅であることから、敷地が小さく補助要件を満たさないことが利用が少ない要因の一つと考えており、制度改善に向けての課題と捉えています。

No.	ページ	意見	回答
12	22	No.8 公園等箇所数・面積について ・箇所数および面積は若干増えているが、土に親しむ広場箇所数・区画数利用総面積が減っている要因は何か。	土地所有者の個々の事情により、土地の返還を求められたことが減少した要因となります。今後も広報等を活用して募集を行ってまいります。
13	23	No.14 生産緑地地区の指定面積について ・減少している要因は何か。 ・何に変わっているのか。	主たる農業従事者の高齢化が背景にあり、死亡・故障及び担い手不足を理由に減少している状況です。本市では、その後、住居系の土地利用に変化するケースが比較的多くあります。
14	23	No.30 騒音に係る環境基準達成状況について ・夜間の達成状況が概要版と異なる。(概要版では5/10になると思われる。)	御指摘のとおり5/10となります。
15	26	戸田地球温暖化防止グループはなくなったのか。	戸田地球温暖化防止グループは、近年、会員の高齢化が進み活動の継続が困難な状態でありました。継続に向けて会員同士で色々と検討していただき、市としても継続の方法と一緒に検討してまいりましたが、令和2年度末をもって解散となりました。本団体に限らず、市内の環境団体における会員の高齢化は課題となっており、対策が必要であると考えております。
16	41	生垣設置・屋上等緑化奨励補助件数の実績値が15件となっているが、P.23の件数と大きく異なる。件数の違いは何か。	P.23の数値は年度あたりの件数、P.41の数値は累計の件数です。
17	43	目標値の6%削減はできなかったということか、目標達成のための取組はあるのか。	御指摘いただいたとおり、前実行計画で掲げた市の事務事業における削減目標(2020(令和2)年度までに市民1人当たり温室効果ガス排出量を2014(平成26)年度比で6%削減する)は未達成の状況です。令和3年度以降については、「環境基本計画2021」に基づき、公共施設の改修や再編において、省エネ・再エネ設備の導入推進や環境に配慮した電力の調達など、削減目標の達成に向けた取組を推進してまいります。
18	50	P.51ではトップである市長が令和2年度の実績を踏まえた今後の見通しを記載いただいている。一方で令和1年度の実績を受けて令和2年度の見通しをどのように計画をしたのか、その結果、令和2年度の実績は見通し通りだったのかどうかの評価がわかるようにすること。これがシステムとした監査がよいサイクルとなっているかわかりやすいと思う。 つまり、P.50の内部環境監査実施状況については、令和1年度のマネジメントレビューに対し令和2年度を評価すると「内部監査実施状況」の評価としてはより良いと感じる。	今後、内部環境監査を行う上で、実施方法や実施時期を含めて、検討を進めてまいります。
19	52	燃料電池自動車に係ることで、戸田市内にイワタニ水素ステーションがあるが、この施設は機能しているのか。燃料電池自動車の普及にあたっては、水素ステーションが全国規模で設置されないと普及しないと思われる。	市内の水素ステーションについては、事業者のホームページに記載されている営業時間(9:00~12:00、13:00~17:00、木曜定休)で営業をしています。令和3年8月に川口市内にも新たに水素ステーションができ、現在埼玉県内には11箇所の水素ステーションがあります。御指摘のとおり、電気自動車や燃料電池車の普及には、給電(燃料補給)施設の整備が必須となります。施設整備の支援については、国の施策等も注視し研究してまいります。
20	57	・表3-1-1 保存樹木等指定状況の令和2年度の数値が、P.22に表記されている数値と異なるようである。 ・保存樹木補助制度の生垣と生垣等設置奨励補助制度の違いは何か。	保存樹木本数について、「戸田市の環境」P.22の458本(R2)は補助金を支出した数量、P.57の468本(令和2年度)は指定数量を記載しています。なお、保存樹林や保存生垣は、指定数量と補助金支出数量は同一となっております。数値については統一した考えに基づき記載するようにいたします。 保存樹木制度の生垣は既に存在しているものを対象とし、生垣等設置奨励補助金制度での生垣は新たに設置するものを対象としています。
21	59	・第2章 水と緑のネットワークの推進では、生きた化石と言われているカブトエビに関する情報はないが、カブトエビに関する保全は対象になっていないのか。 ・戸田にはすでに田んぼがないので、対象外となっているのか。	「水と緑のネットワーク形成プロジェクト(戸田市地区)行動計画」(平成23年)において、カブトエビは指標種に含まれていません。同計画中における指標種は、樹林地、草地、止水域にて設定しています。

No.	ページ	意見	回答
22	60	イケチョウ貝による水質浄化の取組が行われているが、P.22のBODの数値をみると悪化しているようである。浄化機能は働いているのか、他に効果的な取組手法はないのか。	イケチョウ貝の投入も要因の一つと考えておりますが、近年水質はかなり向上しました。水質が向上し透視度がかかなり向上したことにより、水草繁茂が問題となっていました。令和2年度に管理者により、水草除去を実施した際に、底にある堆積物を大量に舞上げてしまい、水質が悪化し、アオコが大量に発生してしまいました。これにより、水質が一気に悪化しました。令和3年度は若干ではありますが改善しております。
23	61, 62	戸田ヶ原自然再生事業の対象とする植物はサクラソウだけなのか。シンボルとしてのサクラソウは理解できるが、他の植物種に関する情報も加えるべきかと思う。サクラソウに関していえば、送粉昆虫類(ポリネータ)としてトラマルハナバチがいるのが理想である。	戸田ヶ原自然再生事業でシンボル種としている植物はサクラソウとしており、毎年の生育状況を「戸田市の環境」に掲載しております。現地である戸田ヶ原自然再生エリア(戸田ヶ原サクラソウ園)では、トダスゲ、ノウルシやハンゲショウなど湿地における野草も併せて自然再生を図っています。 また、トラマルハナバチについて御助言いただきありがとうございます。今後の再生事業の検討課題といたしたく、関係者間で情報を共有いたします。
24	64~	第4部「環境(公害)調査と現況」は、とくに説明やデータが丁寧で詳しくて良いと思う。騒音の苦情対応は難しく感じる。	苦情対応は、解決が難しいものが多いですが、迅速に対応することで、苦情者の心情が和らぐことが多くなっております。今後も迅速な対応を心掛けてまいります。
25	65, 66	・騒音で、住居系のところが比較的数値が大きいが、ここは第1種・第2種住居地域となるところか。 ・表4-1-3の騒音について、平成25年から平成26年で件数が大きく減少した要因は何か。	・住居系の内訳は、第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域となります。 ・平成25年度から平成26年度にかけて、騒音の苦情件数が減少した要因の1つとしては、平成26年度は平成25年度に比べて特定建設作業の届出が20件近く少なかったことが要因として考えられます。また、法令規制のない建設工事の苦情も半減しています。
26	65~67	・悪臭では、準工業系でその他が多く、発生源の特定が難しいというコメントがあるが、機械系工場なのか、食品系工場・印刷系工場なのか等の見当はついていないのか。 ・悪臭の件数が増えている要因は何か。	工場系の悪臭については、既に特定できている所もあります。この場合は、工場まで出向き法規制等の有無などを確認しております。法規制がある場合は改善指導を行います。法規制がない場合や法規制の基準値内の場合は、近隣の方と協議の場を開いていただくなど、解決に向けて話し合いを進めているケースもあります。その他、近年多く寄せられておりますのは、下水道の臭いや、野外焼却による煙の臭いなどが多くなっています。要因は様々かと思いますが、新型コロナウイルスに伴うリモートワークなどで自宅にいる機会が多くなったことで、臭気が気になるとの御意見が多くなっています。
27	79~95	第3章 水質汚濁 ・CODの基準値はいくつか。 ・自分の住居に近い菖蒲川をみると、非常に汚いと感じている。BODの数値を見ると、令和2年は2.9と低い数値を示しているが、それでも見た目は汚く感じられる。魚が浮いているところも見る。菖蒲川の数値をベースに見ると、他の地点は菖蒲川より大きいところがほとんどである。そうなると、菖蒲川で汚く感じているので、他はそれ以上に汚いと感じることになる。 ・河川の水質浄化に取り組む必要があると感じている。	・河川にはCODの基準はございませんが、微生物が分解できない有機物などが大量にある場合は、CODが通常よりも高くなることから、参考として測定しています。 ・河川の見た目については、水の濁りや浮遊物なども関係してくるため、BODだけでは判断できかねます。また、魚の斃死については、天候などにより水中の溶存酸素濃度の低下による酸欠が原因の場合が多い状況です。 ・河川の水質浄化については、河川管理者と連携し、取り組んでまいります。
28	79~97	河川水質に関して、10の河川水調査地の類型(AA~E)は全てC類でよいが、(確認)CODは参考として測定していると思われるが、方法は2クロム酸法が過マンガン酸カリウム法のどちらかを記載されたい。また、BOD値は多くの場合CODの半分程度(過マンガン酸カリウム法の場合)が多く、BODがCODを上回ることはまれである。10以上の高い数値が出ているところではどちらも同じレベルとなっており、水質の健全性の観点から注視する必要がある。	戸田市の河川については、法令による類型指定はされておませんが、市内の河川が全て荒川水系に属しており、荒川下流がC類型であることから、全てC類型を採用しております。 CODの測定方法は日本産業規格17に定める過マンガン酸カリウム法により測定しております。今後も水質の状態を注視し、河川管理者と協力し、水質の向上に向けて取り組んでまいります。
29	79~97	透視度の単位は(度)ではなく、(cm)であろう。(度)を用いるものは「濁度」である。どちらか確認されたい。	透視度の単位については、「cm」を単位として使用している自治体もありますが、戸田市の場合はJIS規格の分析方法で、「度」を使用していることから、「度」で表記しております。
30	101	表4-4-3で市道7, 9, 10で基準値を超過する原因は何か。自動車の通りが多いのか。	市道7は中央通り、8は東部センター通り、9は戸田中通り、10は北大通りであり、全て市内における主要道路です。この内、市道7, 9, 10は市道8と比べて大型車の交通量が多く、結果として騒音の環境基準を超過する要因の1つとなっていると考えます。

No.	ページ	意見	回答
31	103、 104	早瀬、美笹ではほとんどの月で環境基準を超えているようだが大丈夫なのか。	環境基準は、人の健康の保護や生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい環境上の条件を定めたもので、基準を超えると、直ちに人の健康に有害な影響を与えるわけではありませんが、環境基準の達成に向けて引き続き努めてまいります。
32	105	深夜営業騒音で、4件の事前指導件数があったとのことだが、4件の新規店舗の営業があったということになるのか。事前指導は、新規店舗のみに行われるものか。営業後に騒音の届出があった際には、是正の指導を行うのか。	事前指導は、音響機器等を新規で導入する際や、店舗のオーナーが変更になった場合に実施します。令和2年度は、新規導入について3件、オーナー変更について1件実施しました（申請者の申し出により確認）。また、騒音の基準を満たしていなければ、是正の指導を行います。苦情があった場合も同様に対応します。
33	105	特定建設作業による騒音の届出が91件あったとのことだが、P.65の表4-1-2の騒音の届出件数と大きく異なる。ここには含まれていないということか。	特定建設作業の届出とは、くい打ち機やさく岩機といった特定の機器を使用する建設作業に伴う手続きで、使用する機器や期間などを事前に市に届け出ることを指します。この届出が91件ありました。P.65の35件は、市民などからの騒音の苦情（建設作業に限らず）申し立て件数となります。この中には特定建設作業の実施に伴う苦情申し立ても含まれています。
34	115 ~117	悪臭の由来が特定できなければ、有機物臭が化学物質臭かなど、おおまかな仕分けが記載されるのが望ましい。	悪臭苦情の場合、苦情者の感覚によるところが大きく、現地で臭いを感じ取ることがほとんどできず、臭気の判別が難しい状況です。臭気が特定できるものは、野外焼却に伴うものが大半であります。
35	119	表4-5-3の変動量を見ると、平成31年1月1日から令和2年1月1日の期間で、全ての地点でプラスになっている。プラスになった要因は何か。 起標番号埼16の調査開始年からの変動量が約マイナス1.29mと他の地点に比べて大きく沈下しているが、要因は何か。意図的な工事によるものなのか。	こちらの数値は埼玉県発表の数値となります。県の発表によりますと、降雨による膨張とその後の収縮を繰り返す過程で、令和元年は膨張傾向が強いため、プラスになっているとのことです。 地盤沈下の最大要因は、地下水の過剰なみ上げによるものとなっています。
36	119	R1の変動量だけがすべてプラスだが何か原因でもあるのか。	こちらの数値は埼玉県発表の数値となります。県の発表によりますと、降雨による膨張とその後の収縮を繰り返す過程で、この年は膨張傾向が強いため、プラスになっているとのことです。
37	134~	第5部で家庭ごみの排出量は減量とあるが、コロナ禍の影響下で増量していると思っていた。	御指摘いただきありがとうございます。P.137に掲載しているごみの量は、蕨戸田衛生センターで処理したものであるため、衛生センターの延命化工事期間に、市外の処理場へ搬出したもやすごみが含まれておりません。家庭ごみの排出量全体をお示しするため、P.137に追記いたしました。令和2年度の家庭ごみの総量は、令和元年度と比べて増加しております。
38	135	環境と福祉の融合（雇用促進）は良い施策であると思う。	御意見いただきありがとうございます。
39	137	ごみ質分析の結果を見ると、やはり厨芥類の占める割合が大きく、食品ロス削減が課題であると思う。	食品ロスの削減は、重要な課題と認識しております。市民・事業者の皆様と共に取り組んでまいります。
40		家庭ごみやもやすごみについて、草刈りの草や剪定時の枝や葉は堆肥化できないものか。 資源回収日における古紙回収について、もやすごみに入れないように周知するべきである。トイレトペーパーやラップの芯、菓子・ティッシュ・たばこの箱、カップヌードルの紙容器、シュレッダーにかけた紙などの取扱いも周知した方が良いと考える。	堆肥は、蕨戸田衛生センター組合のリサイクルフラワーセンターで製造しております。枝葉や草の堆肥化についての御意見は、同センターへ情報共有させていただき、事業の参考とさせていただきます。 また、ごみの分別の徹底により、もやすごみの減量を図ることができるよう、様々な機会を捉えて周知・啓発に努めてまいります。

議題3:改訂版戸田市環境基本計画の評価結果について

No.	ページ	意見	回答
1	【詳細資料】 1	保存樹林2箇所は貴重な緑の財産なので、保存樹林補助制度を活用し、所有者の好意の許す限り市民の財産としても残してほしい。	保存樹木制度(保存生垣、保存樹林を含む)については、所有者が適切に管理できるよう運営してまいります。
2	【詳細資料】 1~4、 5~21	資料 - 2 P.1~P.4までの指標一覧に対して、P.5~P.21までの実績一覧の関連が理解できなかった。また、P.5~P.21の評価理由として、各項目の右欄にある「総括等」の文章説明があるものの、数的評価根拠や評価指標がないように感じたため、理解しづかった。	P.5~P.21については、目標を数値化することが困難な取組となります。
3	【詳細資料】 3	38番と39番、電力使用量とガス使用量の算出は今後どうするのか。	埼玉県が調査・公表している「埼玉縣市町村温室効果ガス排出量推計報告書」等を利用して、算定してまいります。
4	【詳細資料】 4	53番と54番、環境団体の高齢化と若返りについてSDGsやESDを使った効果的な施策が必要ではと思う。どこの自治体でもそうだが、市民参加と連携事業をどう推進するかが課題のようである。	とだ環境フェア2021では中学生から環境への取組を発表してもらう「とだ環境スタディ」など、若い世代への環境意識の啓発を図りました。 https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/212/kankyo-todakankyo-fair2021.html
5	【詳細資料】 5~17	P.5からP.17に記載されている一覧は、全て継続実施するものなのか、表の頭には「当面実施する事業」と記載されている。継続実施しない項目も含まれているのであれば、「継続の有無」という欄を設けて、「または×」、「継続または継続しない」などを明記していただきたい。P.22以降では、評価Cに対して継続の有無についての一覧があるが、評価A・Bについては全て継続事業ということになるのか。	「当面実施する事業」は前計画で実施した事業であり、新たな計画である「戸田市環境基本計画2021」ですべて継続されるものではありません。
6	【詳細資料】 5、22	菖蒲川の浄化に取り組んでいただきたい。さくら川、上戸田川については取り組まれているようである。市民と連携して微生物等を活用した河川水質向上の研究については継続しないということであるが、河川水質向上に向けた研究・取組を継続していただきたい。水質向上に適した手法の目途がいつか市民と連携して、広く実施することでよいと考えている。BODの水質検査で環境基準値をクリアしても見た目の状況が改善されなければ意味がない。	菖蒲川については、埼玉県が管理する河川であるため、河川課と協力して、埼玉県へ要望してまいります。また、戸田市の河川水質の汚染原因として、下水道未整備地区からの排水の問題があります。浄化槽によって適切に処理された排水ではなく、未処理の排水や処理が十分ではない排水などが多く流入していることが挙げられます。浄化槽をお使いの方に正しい使い方や管理方法などを繰り返し啓発しています。また、下水道が整備されているにも関わらず、引き続き浄化槽を使用している物件については、水安全部と協力し、下水道への切り替えの啓発を行ってまいります。
7	【詳細資料】 10	生ごみ資源化推進について、「生ごみを堆肥として利用することにより資源化が推進した。なお、令和2年度末をもって生ごみ処理機の使用を廃止した」とあるが、この施設の再利用活用法はないのか。資料 - 2のP.5で廃止の要因は維持管理更新に係る費用対効果等を考慮して廃止と書かれているが、設置の計画段階から計算できたのではないのか。設置に高額な費用がかかっているのではないのか。施設の活用法を考えてはどうか。	生ごみ処理機の老朽化に伴い、処理機の更新を検討いたしました。使用状況や更新費用等を勘案した結果、廃止することにいたしました。
8	【詳細資料】 13、21	地球温暖化防止対策について、地球温暖化対策地域協議会が中心となって団体を組織して、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(全国地球温暖化防止活動推進センター)の賛助会員として加入することを提案する。埼玉県下では以下の団体がメンバーとなっている。 ・認定NPO法人 環境ネットワーク埼玉 (埼玉県の地域センターとして正会員) ・NPO法人 熊谷の環境を考える連絡協議会 (賛助会員) ・特定非営利活動法人 川口市環境会議 (賛助会員) 全国(都道府県)の温暖化対策の取組状況などの情報を入手することができ、環境省事業の取組に参加することができる可能性がある。他の好事例を活用することができる。	戸田市地球温暖化対策地域協議会では、メンバーとして、埼玉県地球温暖化防止活動推進センター(認定NPO法人環境ネットワーク埼玉)に御参加いただいております。一般社団法人地球温暖化防止全国ネット賛助会員への加入については、次年度以降の地域協議会開催時に情報提供し、検討させていただきます。
9	【詳細資料】 19	保育園では園庭、小学校では校庭の一部を利用して埼玉県産の農作物を先生と一緒に育てることで、食べ物の大切さから食育につながり好き嫌いがなくなり食べ残しがなくなると思う。敷地がない時は近隣の土に親しむ広場を優先的に利用させてもらう。	食品ロスの削減は、重要な課題と認識しております。農作物の栽培を実施している小学校や保育園もあり、食育を含めた環境学習について、出前講座等により取り組んでまいります。

No.	ページ	意見	回答
10	【詳細資料】 22	河川浄化の実施に関して、効果があるのか判断できなかったとはどういうことか。	河川の水質汚濁には様々な要因が絡んでおり、特定の一事業を指して、効果のあるなしを判断できないことから、このように記載いたしました。今後も河川管理者と協力し、水質の改善を目指してまいります。
11	【詳細資料】 23	雨水浸透・貯留の取組として、家庭用の雨水タンク設置の補助金はあるのか。	市販されている雨水タンクなどを設置する場合等に、補助金を交付しています。
12	【詳細資料】 25	給食において、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、急なクラス閉鎖、学校閉鎖などが発生し、キャンセルできない具材や調理済具材が発生したと推察します。そのような事実があるのであれば、取組事項として掲げることを提案したいと感じる。	学級閉鎖等により不要となった食材のキャンセルが間に合わず、納入された場合は、他のクラスに多く配分する等廃棄が生じないように対応しております。
13		資料 ー2から、戸田市が様々な施策や取組、プロジェクトを実施していることが読み取れる。	環境対策は幅が広く、市民の生活に直結することから、様々な分野で取組を推進しております。
14		評価A、B80%はすばらしいと思った。	各部署が積極的に環境対策に取り組んできた結果と考えております。
15		地域通貨(戸田オール)の活用方法をもう少し具体化していくべきだと思う。事業所などとの連携も必要と感じる。	とだ環境フェア2021のとだ環境スタディで、応募への御礼として戸田オールを活用しました。今後も地域経済の活性化も踏まえた取組を行ってまいります。

議題4:戸田市地球温暖化対策実行計画(改訂版)の評価結果について

No.	ページ	意見	回答
1	【詳細資料】 1	バス利用者が減少したから「未達成」、資源ごみの排出量が増加したから「達成」というのはどうなのだろうかと思う。	御指摘のとおり、単純に増加・減少で判断することは困難ではありますが、傾向を把握するための指標管理としております。
2	【詳細資料】 1	市内太陽光発電設備設置容量の評価手法として、全世帯数(全家屋数)あたりの設置件数の割合で評価する、普及率で評価することを提案したい。国では、新築戸建てに対しては設置の義務化が検討されているため、設置戸建てで件数をみた普及率で評価することの方が分かりやすい。設置容量では、何件分の戸建てに設置されているのかが分からない。検討をお願いしたい。	国が示した温室効果ガス排出量削減46%を達成するうえで、どのような指標がいいか、基となるデータの入手方法や正確性も含め検討してまいります。 専用住宅・店舗併設住宅における太陽光発電の普及率1.5%(平成30年度住宅・土地統計調査による)
3	【詳細資料】 2~4	何か所か出てくるが、「出来た」は「できた」に統一した方がよいのではと思う。	今後については、統一してまいります。
4	【詳細資料】 2~9	P.2~P.9の実績で評価基準が理解できなかった。評価「B」、評価「A」の違いや、どうしてその評価と言えるのか的根拠などあると理解しやすいと感じた。	定量的に判断できるものについては、今後、記載することを検討してまいります。
5	【詳細資料】 3	公共施設管理課でH30まで緑のカーテンが実施され、令和元年より内容変更(LED化実施)とあるが、継続することで効果が判明できるのではないかと、緑のカーテンの効果はどうだったのか。	例年、各公共施設管理課へゴーヤ苗を配付し、緑のカーテンを実施しています。緑のカーテンを設置した施設では、施設内の温度上昇を抑制する効果も出ているところです。諸事情により実施できなかった年もありますが、温暖化対策において必要な取組であることから、継続して実施してまいります。
6	【詳細資料】 4	最初の項目の総括等で「今後も、交換時期に合わせ順次省エネ・再生可能エネルギー機器等へ移行していく。」は削除してもよいのではと思う。	計画の達成状況の振り返りと合わせた今後の方針として記載させていただきました。
7	【詳細資料】 5	議題3と重複するが、生ごみ処理機を維持管理し、積極的に活用していたのに処理機の維持管理・更新に係る費用対効果を考慮し令和2年度末で使用廃止したとあるが、処理機の効率を良くして、ごみの減量・堆肥化に役立てることはできないのか。以前は近所の生ごみも処理していたと聞いたこともある。	生ごみ処理機の活用は、ごみの減量の有効な手段の一つではありますが、使用状況や費用面を勘案した結果、廃止することになりました。
8	【詳細資料】 5	エコドライブの普及で「新たに電動自転車を購入したことで、自転車利用の促進が図られた」という内容があるが、電動自転車を購入したというのは一般市民のことを指しているのか、市の移動手段として購入したということか。電動自転車購入に対する補助金はあるのか。自動車を利用していた方が、自転車に切り替えて通勤などに使用することになったことを意味しているのか。経緯、内容について補足説明をお願いしたい。	市が電動自転車を導入したことにより、業務において公用車(自動車)の利用が減少したものであります。また、電動自転車の導入に関して、市の補助金はありません。
9	【詳細資料】 5	充電設備設置に関する支援について、支援した先は事業者か、一般家庭か。支援先について教えていただきたい。また、支援内容(補助金なのか)についても教えていただきたい。	個人、事業者の両方から申請があり、補助金を交付しました。
10	【詳細資料】 7	13項目の総括等で「敷地内の草木の植栽や維持管理を適切に行うことで、ヒートアイランド現象緩和に努めた。」として、詳細は分からないが「A(達成)」でもよいかと思う。	いただいた御意見を参考とし、今後の評価等に反映させていただきます。
11	【詳細資料】 8	「各小・中学校にて建て替えや校庭修繕を行う際、雨水対策や貯留施設の設置を行うことができた」とある。気候変動がもたらす気象災害にも繋がるので建て替えや校庭修繕の際はこれからも考慮してほしい。	引き続き、敷地状況や関係法令を踏まえ、必要に応じて雨水対策施設を設置していきます。
12		資料 から、地球温暖化対策についても戸田市が様々な施策や取組を実施していることが読み取れる。	今後につきましても、温室効果ガス排出量削減のため、様々な取組の推進に努めてまいります。
13		ヒートアイランド対策の達成度について、取組の度合いが評価されているが、実際に最高気温や最低気温がどの程度改善されたのかを認知しておく必要があるのではないかと、(例:1990年と比較して何 上昇しているのか、IPCC報告(2021.9)によれば1.5 以内に必要がある)	取組を行うにあたり、その効果(日なたと日陰の気温差など)も含め、周知を図ってまいりたいと考えております。

No.	ページ	意見	回答
14		(議題2の続きで) 廃棄物部門達成率100%とあるが、枝葉の堆肥化や適正な分別による古紙回収の取組などを進めることで、それ以上に効果があがるのではと考える。衛生センターの持続化にも繋がる。	ごみの分別が適切に実施されることにより、もやすごみの減量とCO2の削減につながるよう、周知・啓発に努めてまいります。
15		見やすいし分かりやすかった。表「部門別対策の達成状況」もわかりやすかった。	今後も、見やすい、分かりやすい資料の作成を心掛けてまいります。
16		評価A、Bで94%の数字はすばらしいと思った。	各部署が積極的に環境対策に取り組んできた結果と考えております。
17		1日当たりのごみ排出量の年度目標値が高いのではないかと、人口増加分も含めても目標値を下げて更なる努力目標を示す方法もあるのではないかと。	目標値については、他の計画の目標値との整合性を図る必要もありますが、いただいた御意見を参考に検討してまいります。

議題5:戸田市環境基本計画2021について

No.	ページ	意見	回答
1	7	気候変動・気象災害への備えの強化【適応策】に、災害廃棄物の処理体制の構築（新規）が入った。このこと自体はよいと思うが、熱中症や感染症への対応のことは消さないほうがよいと思う。さらに言えば、P.6の4つのプロジェクトの関連図の中では、災害廃棄物の処理等について触れられていないので、その点の不整合もご検討いただきたい。	概要版ということで、スペースの都合上により取り上げる項目の取捨をさせていただきました。今後、資料作成の際には、注意してまいります。
2	8	温室効果ガス排出削減目標の「2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比26.0%削減とする。」は、書面会議議事次第にあるように、戸田市の目標値もいずれ46%程度に上方修正するのだと思っている。	国で新たな目標や方向性等が示されたことから、今後、国や埼玉県との動向に合わせて見直しを図る予定です。修正にあたっては、環境審議会の皆様にもお諮りする予定であります。
3	8	・温室効果ガス排出量について、経年変化でわかる棒グラフで表示することは可能か。各年の棒グラフには、各分野（産業、家庭、運輸など）の割合が分かるように表示することはできるか。 ・これまで、平成17年度比での削減目標の表記だったが、今回は平成25年度比に置き換えた削減目標となっている。平成17年度比に対しては何%の削減目標になるのか。	区域施策編については、環境基本計画2021[全体版]のP.128に部門別の経年変化を示すグラフがあります。平成17(2005)年度比と比較した場合は、約20%の削減となります。なお、今回は全体版を配付しておりませんが、市ホームページ等でご確認いただくことができます。 https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/212/kankyo-seisaku-kihonkeikaku.html 前計画と算出方法が異なります。なお、本概要版はすでに発行しているため、計画の見直しを行う際に、検討してまいります。
4	9	・P.8と同様、経年変化の棒グラフの表記は可能か。 ・平成17年度比に対しては何%の削減目標になるのか。	事務事業編については、環境基本計画2021[全体版]のP.136に経年変化を示すグラフがあります。なお、平成17(2005)年度比については、当時のデータがないため、2013年度比が最新のものとなります。 前計画と算出方法が異なります。なお、本概要版はすでに発行しているため、計画の見直しを行う際に、検討してまいります。
5	10	水害時の対応として、荒川が氾濫した場合、概ね2階軒下まで浸水することが想定される。公共施設で3階以上を有する施設が少ないように思う。私の自宅の公共施設は東部福祉センターとなる。建物が古く、周辺住民全てが避難した場合、収容できる大きさではないので、今後の建て替え時期では、水害時の避難所として十分対応できる機能を有していただきたい。	御意見については、担当部署に共有させていただきます。
6	10	ヒートアイランド・大雨対策として、市が管理する道路、歩道についてはウェットコンクリートを舗装することを提案する。	御意見については、担当部署に共有させていただきます。
7		4つの「基本目標」と4つの「プロジェクト」にまとめ、とてもうまく整理されていると思う。	環境問題は様々な分野にわたることから、本計画でも各取組を紐づけるのではなく重点プロジェクトとしてまとめられています。
8		関連するSDGsのフィールドを掲げただけである(定量的に示せるものはできるだけ定量的に示す)。	SDGsそのものの提示ではありませんが、各プロジェクトにおいて、進捗度合いを管理する指標で代表的なものを「戸田市環境基本計画2021」の[全体版](P.43、63、79、85)で示しております。 なお、今回は全体版を配付しておりませんが、市のホームページ等で御確認いただくことができます。 https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/212/kankyo-seisaku-kihonkeikaku.html
9		2019年の台風19号により笹目川とポートコースとの間に設けられている取入水門の上より越水し、ポートコースへ流入したことで、周辺地域にて床下・床上浸水が発生したとのことだが、これは地球温暖化によると考えられる。当時は海水温が27と高い海水温のため、台風の勢力が衰えず、大量の水分が含まれているので、10月11日から13日にかけて連続雨量が237mmの降水量という気候変動による気象災害が発生した。集中豪雨による内水氾濫を防ぐ対策をし、河川に雨水が集中しないよう、早急に対策する必要がある。取入水門全体が地盤沈下しているとも聞いている。	御指摘のとおり、近年の台風の大型化や集中豪雨等の気象災害の発生は、地球温暖化に起因していると言われています。今後とも、地球温暖化への緩和策や適応策の実施、河川氾濫や内水氾濫に備えた対策を講じてまいります。

No.	ページ	意見	回答
10		見やすく、カラーで、市民委員の私から見ても読みやすいと思った。	御意見ありがとうございます。 会議資料をはじめ、市民へのチラシ等についても、分かりやすく作成することで、実践に結び付けてまいります。
11		地方自治体は二酸化炭素排出実質ゼロ表明を行っているところが増えているようですが、戸田市はどうか。	二酸化炭素排出実質ゼロ表明だけでなく、その裏付けとなる取組も含め検討課題とさせていただきます。
12		資源循環推進プロジェクトの環境負荷の低減で市立の小中学校にエコキャップ運動をしてもらおう。(運営は、キャップの貯金箱さんにまかせる、東京都千代田区からの依頼で5年程継続中。)	いただいた御意見を参考とさせていただきます。
13		良くできていると思う。	環境問題は様々な分野にわたることから、少しでも見ていただく皆様に分かりやすい内容となるように努めてまいりました。様々な会議においていただいた貴重な御意見を最大限考慮し、策定することができたと考えております。

議題6:戸田市災害廃棄物処理計画(案)について

No.	ページ	意見	回答
1	【概要版】	資料 - 1は、表にまとまっていて分かりやすい、第2編の黄色に白色の組み合わせだと、字が読み取りにくい。	色を変更する等、見やすくなるよう工夫いたします。
2	【概要版】 1	資料 - 1(2)対象品目については、一般的な粗大ごみ電子申請のように詳細に品目ごとに受入可能かどうかインターネットで開示されると運用しやすいと感じた。また、受け入れ先の状況がわかるとよいと感じる。 ・受け入れ可能なのか ・受け入れしているが、引き渡し(荷下ろし)までの待ち時間はどれくらいか	いただいた御意見を参考に、分かりやすい情報提供に努めます。
3	【全体版】	資料 - 2から、戸田市の災害廃棄物処理計画の全容が読み取れる。環境基本計画の気象災害対応の一環としても理解した。	御意見いただきありがとうございます。
4	【全体版】 1、13	P.1に「担当部署等の具体的な業務内容を示した」とあり、P.13に「戸田市災害対策本部の組織図を示す」とあるが、本計画をめぐる戸田市全体と環境経済部の関係がどうなっているのかが分かりにくいところがあった。環境経済部は災害廃棄物の担当という理解でよいのか。	環境経済部が災害廃棄物の担当部署となります。
5	【全体版】 40	図2-2-2の凡例が読めない。凡例にある4種類の道路の説明が文章にない。	字が見やすくなるよう工夫いたします。拡大したものを添付いたします。
6	【全体版】 42~46	発災後、仮置場の設置や運営が迅速・的確に行われることが大切ではないかと改めて思った。	災害廃棄物処理計画に基づき、速やかに仮置場を開設できるように努めます。
7		戸田市がこれまで受けた大きな被害(台風、河川氾濫)の廃棄物の量はどの程度であったのか、また、その際の処理はどのような流れで進められたのか。	令和元年台風19号においては、浸水の被害を受けた世帯から、使用できなくなった家具や家電が排出され、回収件数は177件、回収量は43.8トンでした。これらの災害ごみは、世帯からの申込みに基づき、個別に家の前等から回収しました。
8		福島沖の大震災によって発生した放射能汚染対策では、どの程度土壌処理の量が発生し、どのように処理されたのかを教えてください。戸田市では、特に大きな除染対策を実施するほどではなかったのか。	各施設で放射線量を測定し、基準値(0.23マイクロシーベルト)を超過していた場合は、その土壌等を除去し、埋設を行いました。実施規模は限られたものでした。
9		他の被災地で発生した廃棄物処理では、他の地域で処理対応できないかという大きな問題が発生し、東京都が積極的な受け入れを行った経緯がある。戸田市で受け入れをする方針であるか。計画案では、他の被災地で発生した廃棄物処理の取り扱いについても記載されている箇所はあるか。	災害時の支援及び受援については、予め締結している災害協定等に基づき、相互支援を行います。また、体制の構築にあたっては、埼玉県や災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)へ支援要請いたします。(P.18~P.20に記載しました) なお、他の被災地で発生した廃棄物の処理の受け入れは、藤戸田衛生センターの施設の状況等により、可否を決定することになります。
10		戸田市がこれまでに災害処理対応した事例を参考に、対応策を拡大して検討する必要がある。これまでに、計画案に相当する内容の対応処理をした経験はあるのか。これまでに戸田市が経験した災害処理はどのようなものであったか。その当時の記録、写真など確認することができる資料があれば提供をお願いしたい。被害状況の様子、廃棄物置場の状況、廃棄処理の状況などの様子がわかる記録があれば提供をお願いしたい。自分自身、大きな被害を受けての避難生活をしたことがないので、想像することが難しい。他の地域での被害状況、避難生活の状況をテレビで視聴することはあっても、自分のことのように実感することができない。	計画案で想定する災害は、戸田市で発生しておりません。戸田市が被害を受けた災害として、令和元年の台風19号が挙げられます。その際の対応状況等につきましては、市ホームページで御確認いただけます。 https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/121/kikikanri-taifuu2019-19.html なお、令和元年台風19号においては、主に床上浸水の被害を受けた世帯から使用できなくなった家具や家電が排出され、回収件数は177件、回収量は43.8トンでした。仮置場を設置することなく、家の前や集合住宅の集積所から個別に収集を行いました。

No.	ページ	意見	回答
11		<p>想定する災害が発生した場合、被害状況のシナリオを策定しているが、現在の戸田市の体制で対応できる実力は何%程度であるか、埼玉県、国への支援に頼る割合はどの程度であるか、各シナリオで、戸田市で対応できる割合が提示されていると戸田市の処理能力を把握することができる。</p> <p>例えば、仮設トイレの設置可能数（推計基数に対して何%戸田市で用意できるのか）、各廃棄物推計量に対する処理能力（何%の処理が可能なのか、100%処理できるのか、70%程度の処理能力なのか）、いくつか提示されている推計量に対して戸田市独自で処理できる能力はどの程度あるのかを合わせて提示されていると委員としては分かりやすい（公開版では記載は不要と思うが）。</p>	<p>組み立て式トイレや仮設トイレを合わせて、約1,000基の備蓄があります。</p> <p>戸田市で対応できる割合については、示すことが難しい状況ですが、蕨戸田衛生センターで処理可能な廃棄物量については、計画の巻末に掲載する予定です。</p> <p>計画の完成は3月末を予定しておりますが、最終版はホームページにおいても掲載いたします。</p>
12		<p>災害時の仮設トイレ設置計画場所等はある程度決まっている場所はあるのか、そのロードマップ作りも事前に作成することは難しいのか。</p>	<p>仮設トイレや組み立て式トイレについては、断水地区の避難所や公園等に設置いたします。上水道・下水道等のライフラインの被害状況と復旧見込みや、断水地域の被災者数等より、設置場所を決定することになります。</p>

その他(全体を通しての御意見や御感想等)

No.	意見	回答
1	環境基本計画2021は、私も策定に少しばかり関わった経緯があるので思い入れがあります。 サステナブル、カーボンニュートラル、レジリエンス、サーキュラーエコノミーといったあたりが、今後の環境政策やまちづくりのキーワードになっていくのではないかと思います。 個々の環境問題を別々に考えるのではなく、SDGsへの関連付けが示すように相互連関的かつ相乗効果的な解決を目指すような取組が必要になってくるのではないかと思います。	環境基本計画2021の策定に御尽力いただきましてありがとうございます。 環境問題は様々な分野にわたることから、本計画でも各取組を組むのではなく重点プロジェクトとしてまとめております。いただきました御意見を意識しながら、各取組の推進を図ってまいります。
2	これからの有料駐車場の設置には、透水性舗装を使用し、駐車場の周りには公害に強い樹木を植える、設置には敷地面積を設定する。	御意見については、担当部署に共有させていただきます。
3	グリーンウェイブ、マンションに住んでいる方向けのものを用意できませんか、参加者が減っているのが気になります。	とだグリーンウェイブでの植樹は、2人以上の団体が対象のため、マンション管理組合も対象になります。広報戸田市2022年2月号P.29の記事では、このことも記載しました。
4	確認する資料の量が多く、隅々まで詳細に確認する時間的余裕がなかったため、個人的に関心のある箇所について、確認したい内容、追加説明がほしいところ、意見をいくつか記述しました。ご対応いただけますと幸いです。	今回の環境審議会は、令和2年度をもって終了した戸田市環境基本計画及び戸田市地球温暖化対策実行計画の振り返りも含まれていることから、非常に資料が多くなってしまいました。 いただきました御意見につきましては、本文書をもって回答とさせていただきます。
5	環境問題に色々取り組んでいる子供達にも「戸田の環境はこういうものがあるよ」などと伝えていけたら良いと思った。	環境対策は一部の人が行えばいいものではなく、少しのことでも多くの人に実施してもらうことで大きな効果を生むものと考えます。 家庭から環境教育を進めていただけることは、重要な意識啓発になりますので、是非ともよろしく願いいたします。
6	初めての環境審議会委員です。コロナ禍で書面会議となりましたが、膨大な資料に驚き全部に目を通すのが厳しく、とても迷いながらの回答になりました。	今回の環境審議会は、令和2年度をもって終了した戸田市環境基本計画及び戸田市地球温暖化対策実行計画の振り返りも含まれていることから、非常に資料が多くなってしまいました。 いただきました御意見につきましては、本文書をもって回答とさせていただきます。
7	全体としては良い資料だと思います。	今後も委員の皆様からの御意見等を参考とさせていただきますながら、できる限り、分かりやすい資料となるよう、心がけてまいります。